Panasonic®

取扱説明書

ポータブルステレオ CD システム

品番 **RX-ED57**

確認と準備

聞く

録音

保証書別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、ポータブルステレオ CD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（2～3ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT7642-MS

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

電源コードについて

電源コード･プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない］

- 傷んだまま使用すると、感電･ショート･火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

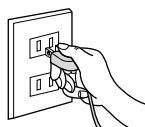
コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

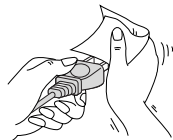
- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ･ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ご使用について

機器の上にものを載せない

- 開閉時に、ものが内部に入り込み、感電、火災や故障の原因になります。

もし異常が起こったら

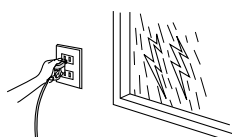
以下のようなときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ、機器やプラグに触れない

接触禁止
- 感電の恐れがあります。

雷が鳴ったら、屋外で使わない

- 落雷の恐れがあります。
- 使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

⚠警告

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠注意

ご使用について

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

- アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

機器の前にものを置かない

- CD挿入部が開いたとき、ものに当たって倒れたりして、けがの原因になることがあります。

CD挿入口の奥には手を入れない

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器に乗らない

- 破損して、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電池について

乾電池は誤った使い方をしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使用しない**
- **乾電池の代用として、充電式電池を使わない**
- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

設置について

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
- 後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

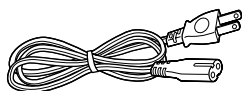
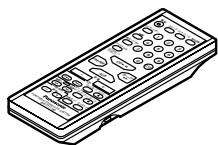
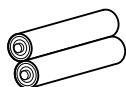
油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

付属品の確認

まず最初に付属品を確かめてください。

□電源コード

（品番：K2CA2CA00010）・・・・・・・・1本

□リモコン（品番：EUR7711160）・・1個

□リモコン用乾電池（単3形）・・・・・・・・・・2個

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
（　）内は買い替え時の品番を表します。

お願い

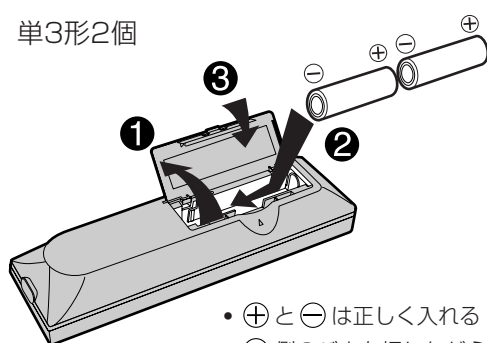
付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

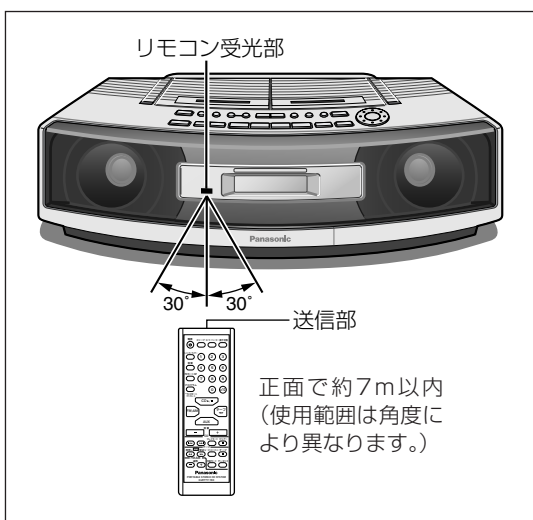
本書の見かた

本書では、本体での操作を主にして説明しています。
リモコンでも、本体のボタンと同様の名前のボタンは、同じように操作できます。
（リモコンのみで行う操作には、
リモコンのみ と記載しています。）
それぞれのボタンについては、6〜7ページ「各部のなまえ」をご参照ください。

リモコンの準備

乾電池（付属）を入れる

単3形2個

- ⊕と⊖は正しく入れる
- ⊖側のバネを押しながら入れる

リモコンの使いかた

■正しく送信するために

- 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意する。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

■リモコンの故障防止のために

- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

電源の準備

家庭用コンセント、または別売りの単1形乾電池（8個）で使えます。

本体後面

家庭用コンセント（AC100V、50/60Hz）
電源コード（付属）
AC IN~
単1形 ×8個
単3形 ×4個

家庭用コンセントで使うとき

電源コード（付属）を奥までしっかり差し込む

乾電池（別売り）で使うとき

電池ふたを開け、番号順に乾電池を入れる

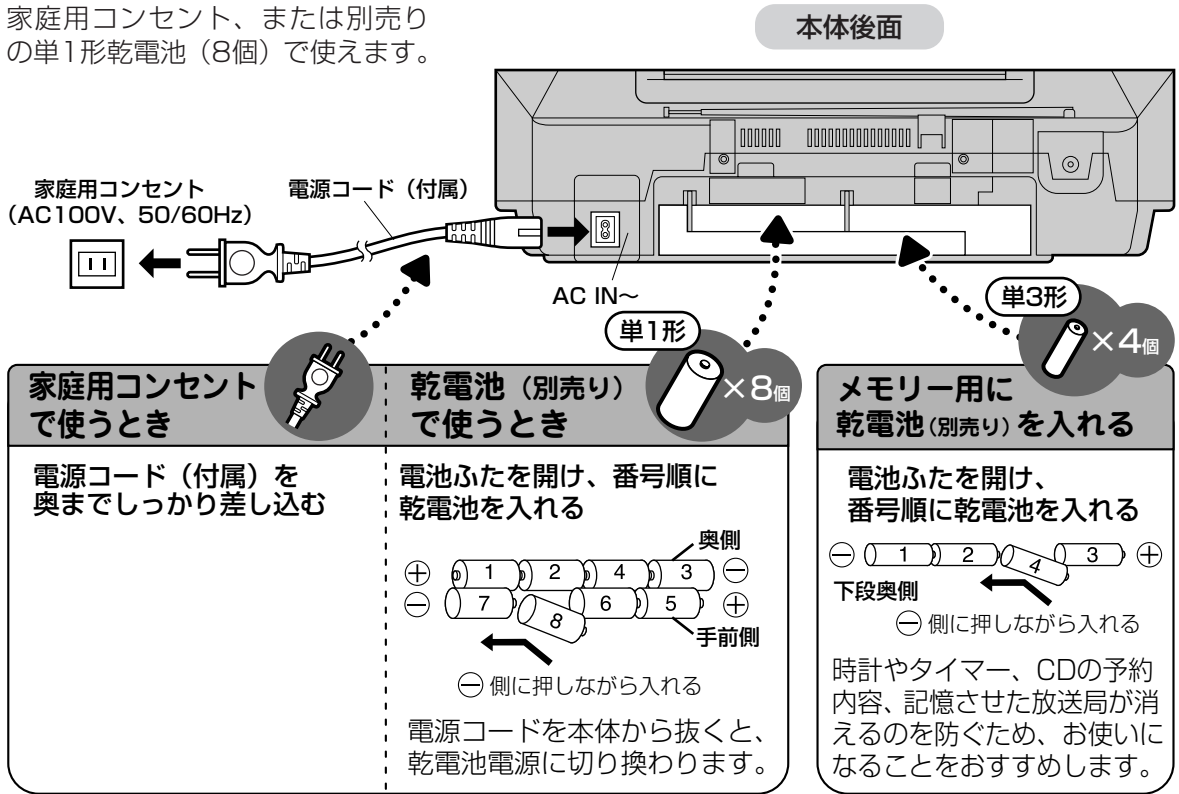
奥側
手前側
⊖側に押しながら入れる

電源コードを本体から抜くと、乾電池電源に切り換わります。

メモリー用に乾電池（別売り）を入れる

電池ふたを開け、番号順に乾電池を入れる

下段奥側
⊖側に押しながら入れる

時計やタイマー、CDの予約内容、記憶させた放送局が消えるのを防ぐため、お使いになることをおすすめします。

■長時間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、メモリー用乾電池（上記参照）を入れていないと、再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。
（電源スイッチを切った状態でも、約1.0Wの電力を消費しています。）
- メモリー用乾電池の消耗を防ぐために、電源コードは電源を切ってから抜いてください。

■電源用乾電池の交換時期

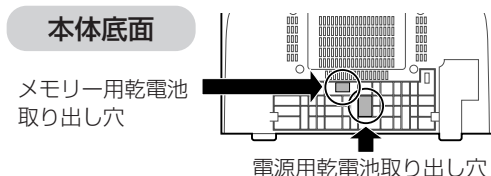
表示パネルで“ ”が点滅したら、電池が減ってきていることを表します。
録音の前に、乾電池8個とも交換することをおすすめします。

■乾電池でお使いのときは

リモコンで電源を入れることはできません。

■乾電池を取り出すときは

本体底面の穴に指を入れて押し出す。

本体底面

■メモリー用乾電池を使用していないと

以下のときメモリーが消えます。
- 停電したとき
- 電源プラグをコンセントから抜いたとき
- 乾電池で使用中に、コンセントに接続していない電源コードを本体に差し込んだとき

■メモリー用乾電池の交換

- 乾電池の寿命は約1年です。
- メモリーが消えないよう、電源コードをコンセントと本体に接続してから、乾電池を交換してください。

お願い

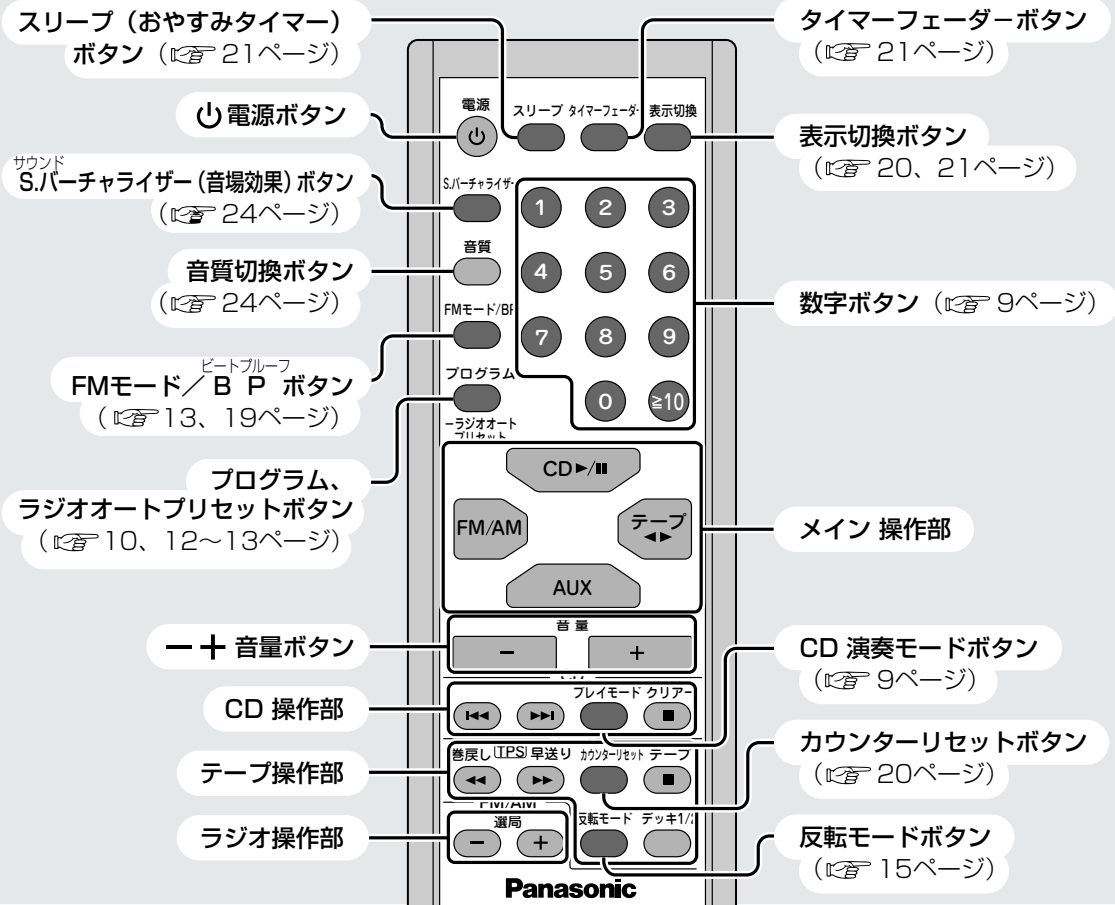
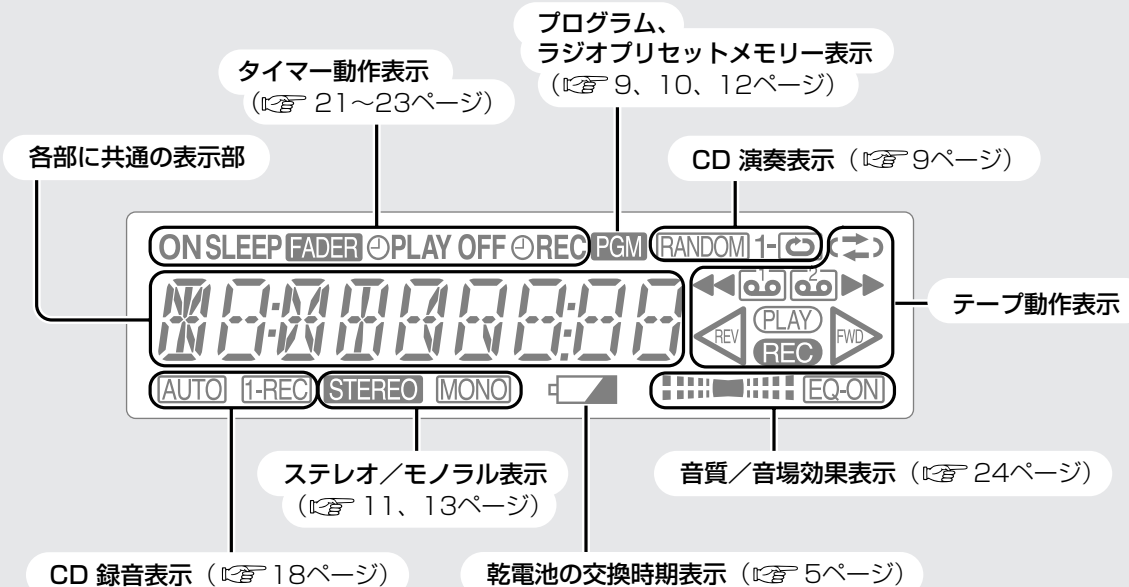
本機のスピーカーは防磁設計ではありません。
テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

各部のなまえ

本　体

（操作部）
CD
テープ
CD 録音モード、
録音／録音一時停止ボタン
（☞16、18ページ）
►/❚❚ CD 演奏／一時停止
ボタン（☞8ページ）
▲ CD 開／閉ボタン（☞8ページ）
テープ編集ボタン
（☞20ページ）
■ テープ／CD 切換、停止
ボタン（☞8ページ）
デッキ1/2切換ボタン
（☞15ページ）
◄► テープ演奏ボタン
（☞14ページ）
⏏デッキ2（カセットふた開）
ボタン（☞16ページ）
⏏デッキ1（カセットふた開）
ボタン（☞14ページ）
デッキ1
デッキ2
ハンドル
表示部
スピーカー
CD トレイ
リモコン受光部
Panasonic
（操作部）
ラジオ
共　通
FM/AMラジオ選択ボタン（☞11ページ）
ジョグダイヤル
（☞8、13、21ページ）
時刻／プリセット選局／
CD選曲操作
− ＋音量ボタン
（☞8ページ）
オークス
AUX(外部入力)
ボタン
（☞25ページ）
電源ボタン
（☞8ページ）
−/◄◄ ►►/＋ 選局／TPS、
巻戻し、早送りボタン
（☞8、11、15ページ）
タイマー操作部
（☞21〜23ページ）
音質切換ボタン（☞24ページ）

リモコン

[ボタン図]のようなボタンはリモコンのみで操作できます。
本体に同じ働きをするボタンはありません。

スリープ（おやすみタイマー）ボタン（☞21ページ）

⏻電源ボタン

S.バーチャライザー（音場効果）ボタン（☞24ページ）

音質切換ボタン（☞24ページ）

FMモード／B P（ビートプルーフ）ボタン（☞13、19ページ）

プログラム、ラジオオートプリセットボタン（☞10、12～13ページ）

－＋ 音量ボタン

CD 操作部

テープ操作部

ラジオ操作部

タイマーフェーダーボタン（☞21ページ）

表示切換ボタン（☞20、21ページ）

数字ボタン（☞9ページ）

メイン 操作部

CD 演奏モードボタン（☞9ページ）

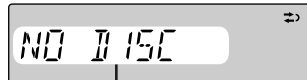
カウンターリセットボタン（☞20ページ）

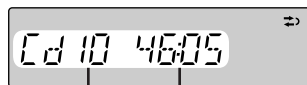
反転モードボタン（☞15ページ）

本体（表示部）

CDを聞く

準備（乾電池電源のとき）：［電源］押す

1 ［テープ/CD ■］押して
CDに切り換える
（家庭用コンセント使用時、電源が入ります。）
押すたびに切り換わります。
TAPE↔NO DISC

CD が入っていないことを表しています

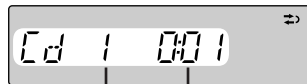
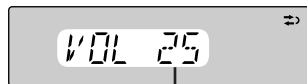
2 ［CD開/閉 ▲］押して CDトレイを開き、
CDを入れてもう一度押す

CD の総曲数　総演奏時間

3 ［▶/II CD］押して　**演奏を始める**
最終曲まで演奏して自動的に停止します。

演奏中の曲番　演奏経過時間

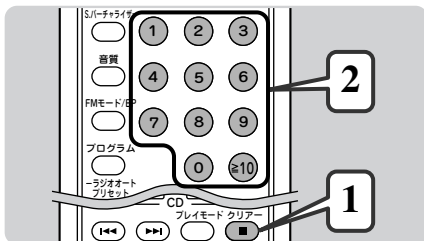
4 ［音量 − ＋］押して　**音量を調整する**

VOL 25
0（最小）　50（最大）

CD
ラベル面
CDトレイ

ワンタッチプレイ（家庭用コンセント使用時のみ）
すでにCD が入っているときは、手順**3**から行うと自動的に電源が入り、演奏が始まります。

お知らせ

• 他の機器（ラジオ・テレビなど）に雑音が入ったら、できるだけ本機を他の機器から離してご使用ください。

リモコンのみ 好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）

1 クリアー ■ 押して　CDに切り換える

もし“PGM”が表示していたら、もう一度 クリアー ■ 押して消す。

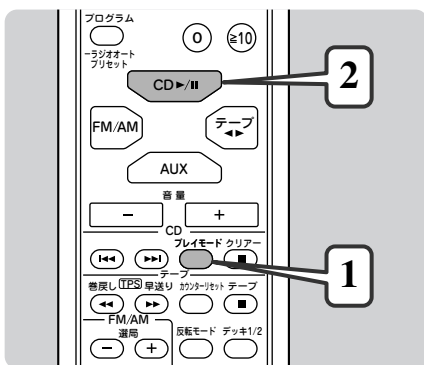
2 ①〜⑩ 押して　曲番を選ぶ

選んだ曲から最後の曲まで演奏した後、停止します。

■10以上の曲番を選ぶ

例）曲番20：≧10 → ② → ⓪

曲番35：≧10 → ③ → ⑤

リモコンのみ 繰り返し聞く（リピートプレイ）

1 プレイモード 押して リピートを選ぶ

Cd 3 3:25

押すたびに → 1-🔁 ：1曲を繰り返すとき（1曲リピート）

↓ 🔁 ：全曲を繰り返すとき（全曲リピート）

↓ RANDOM

→ 元の表示（解除）

2 演奏前のときは CD►/II 押して　演奏を始める

“1-🔁”のときは演奏している曲を繰り返します。

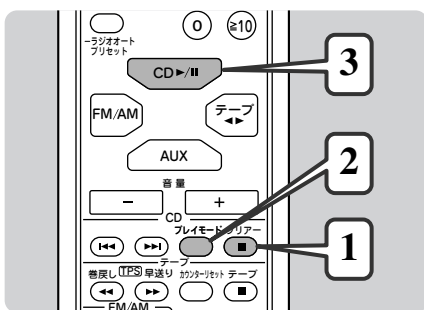
■好みの数曲を繰り返す

① プログラムプレイ（☞10ページ）で演奏を始める。

② プレイモード を押して“🔁”を選ぶ。

■解除する

プレイモード ポンポンと押して、“1-🔁”または“🔁”の表示を消す。

リモコンのみ 順不同に聞く（ランダムプレイ）

1 クリアー ■ 押して　CDに切り換える

2 プレイモード 押して“RANDOM”を選ぶ

押すたびに → 1-🔁 → 🔁 → RANDOM

元の表示（解除）←

3 CD►/II 押す

各曲を順不同に演奏した後、停止します。

■解除する

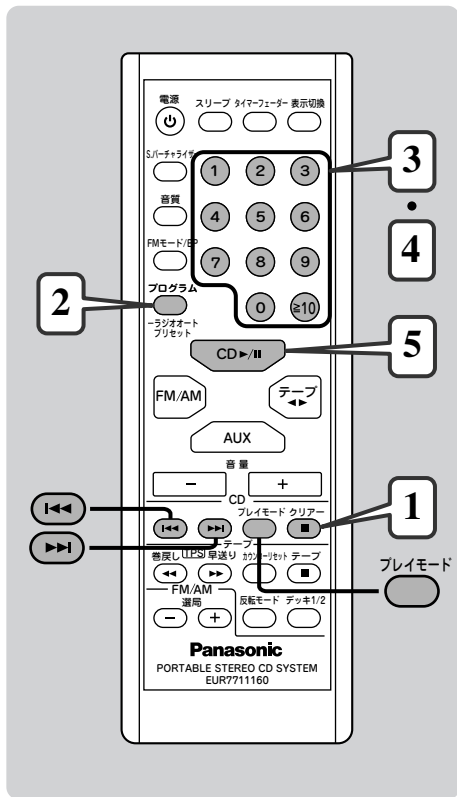
プレイモード 押して、“RANDOM”表示を消す。

ランダムプレイ中に解除すると、演奏中の曲からCDの最後の曲までを順に演奏した後、停止します。

ランダムプレイ中は

- 好みの曲だけを選んでランダム演奏することはできません。
- リモコンの数字ボタンを押して曲番を選ぶことはできません。（“E”が表示されます。）
- スキップで前の曲には戻りません。
- サーチは、演奏中の曲内のみできます。
- プログラムプレイと同時にはできません。

CDを聞く

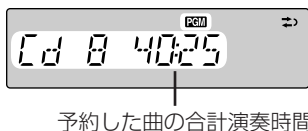
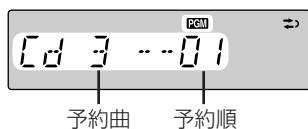
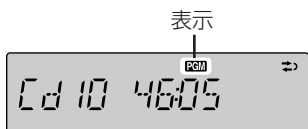
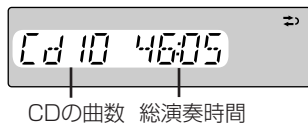
リモコンのみ　好みの曲を予約順に聞く（プログラムプレイ）

最大36曲まで予約できます。

1 クリアー（■）押して
CDに切り換える
もし、“RANDOM”が表示していたら、プレイモード 押して消す。

2 プログラム 押して
“PGM”を表示させる

3 ①〜⑩ 押して
曲番を予約する

4 手順3をくり返して、
続けて予約する
（最大36曲まで）

5 CD►/II 押して　**演奏する**
予約順に演奏し、自動的に停止します

■プログラムの内容を取り消す

クリアー（■）押す

“CLEAR”を表示し、予約曲がすべて取り消され、プログラムプレイも解除されます。

■“FULL”と表示されたら

すでに36曲予約されています。これ以上予約できません。

■プログラムプレイ中は

- 演奏を止めたり、電源を切ったときでも、予約内容は記憶されています。
  （演奏を止めたときなどに出る“Cd-P”の表示は、予約内容が記憶されていることを表します。）
- サーチは、演奏中の曲内のみできます。

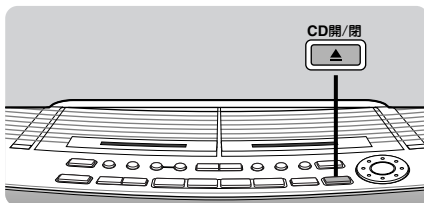
■予約内容を確認する

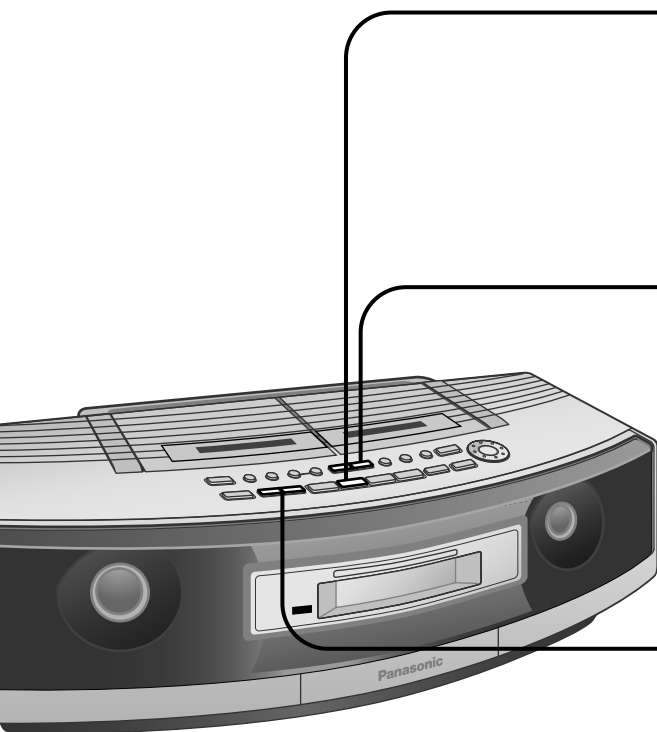
停止中に |◄◄ または ►►| 押す
押すたびに曲番と演奏順が表示されます。

■“-- --:-- --”と表示されたら

予約曲の合計演奏時間が100分以上になりました。ただし、予約や演奏はできます。

お知らせ

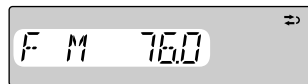
リピートプレイ、ランダムプレイ、プログラムプレイは、以下のようなときも解除されます。
- メモリー用乾電池を入れないで、電源コードを抜いたとき（☞5ページ）
- CD開/閉（▲）押してCDトレイを開いたとき

ラジオを聞く

テレビ音声（1～3チャンネルのみ）は、FMで受信します。

準備（乾電池電源のとき）：［電源］押す

1 ［FM/AM ラジオ］押して FMまたはAMを選ぶ

（家庭用コンセント使用時、電源が入ります。）

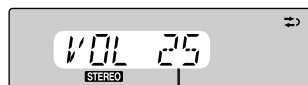
押すたびに　AM↔FM

2 ［選局/TPS 巻戻し −/◀◀ 早送り ▶▶/+］ポンポンと押して 放送局を選ぶ

● テレビ音声1～3chの位置

90.0 MHz−TV1ch−TV2ch−TV3ch

3 ［音量 − ＋］押して 音量を調整する

VOL 25

STEREO

0（最小）　50（最大）

自動選局する（オートチューニング）

［選局/TPS 巻戻し −/◀◀ 早送り ▶▶/+］押したままにし、周波数が動き始めたら指を離す。

最初に受信した放送局で周波数が自動停止します。

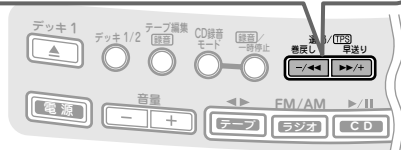
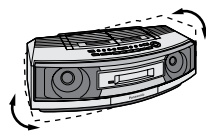
自動選局を止める

もう一度［選局/TPS 巻戻し −/◀◀ 早送り ▶▶/+］押す。

（操作部）

■受信状態がよくないときは

FM：
ホイップアンテナの長さと向きを調節する

AM：
本体の向きを調整する

お知らせ

- AMとテレビの音声はモノラルになります。
- オートチューニング時、周波数に妨害電波があると放送局を受信せずに周波数が停止することがあります。
  その場合は、［選局/TPS 巻戻し −/◀◀ 早送り ▶▶/+］をポンポンと押して、選局してください。
- AM放送受信中にテープ操作をすると、一時的に音声が途切れます。
- 乗り物や建物の中では、電波が弱まり聞こえにくいことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

本機のTV受信回路について

FM受信回路と兼用しているため、2または3チャンネルにFMが混信することがあります。

ラジオを聞く

リモコンのみ 放送局を記憶させる

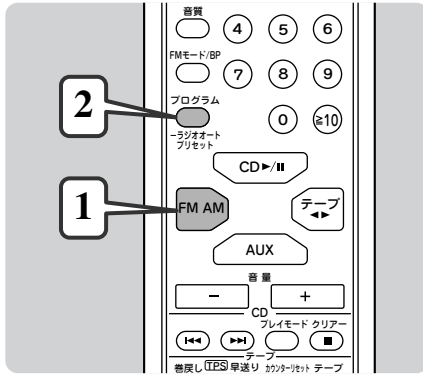
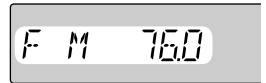
放送局を記憶させておくと、次から簡単に選局できます。
- FM、AMを別々に記憶させてください。(各12局まで)
- FMの放送局を記憶させるときは、アンテナを伸ばしておいてくだい。

自動で記憶させる(オートプリセットメモリー)

1 FM/AM 押して **FMまたはAMを選ぶ**

押すたびに AM↔FM

F M 76.0

2 "AUTO"を表示するまで プログラム **押したままにする**

AUTO

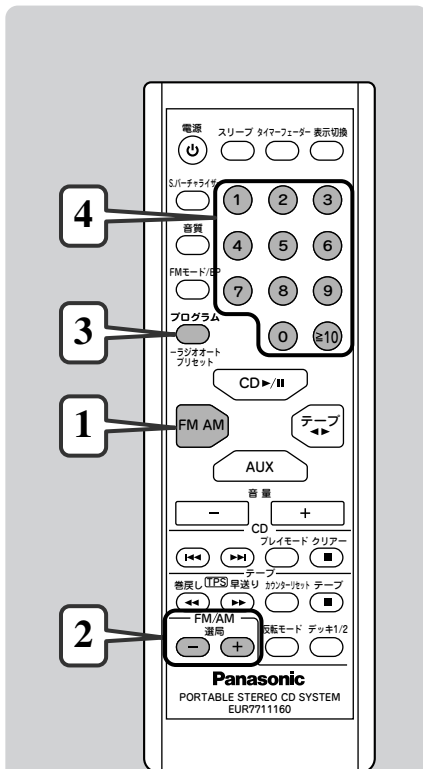
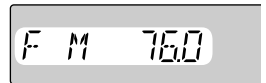
周波数が動き始め、受信した放送局を順番にプリセットチャンネルの1~12へ記憶していきます。
記憶が終わると、プリセットチャンネルの1に記憶した放送局を受信します。

- プリセットチャンネルに記憶させた後に、オートメモリーで新たに記憶し直すと、前の記憶は消えます。
- 放送局が正しく記憶できないときは、手動で1局ずつ記憶させてください。(下記参照)

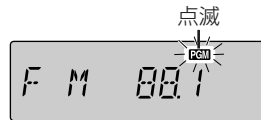
手動で1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセットメモリー)

1 FM/AM 押して **FMまたはAMを選ぶ**

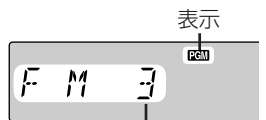
押すたびに AM↔FM

F M 76.0

2 選局 − + ポンポンと押して **放送局を選ぶ**

- オートチューニング(☞11ページ)を使って放送局を自動で選ぶこともできます。

3 プログラム ポンと **押す**

4 "PGM"点滅中に

①~⑩ 押して **プリセットチャンネル(1~12)を選ぶ**

放送局が記憶されます。

例)プリセットチャンネル12:≧10 → ① → ②

途中で表示が元に戻ったら
手順 **3** からやり直してください。

5 手順 **2**~**4** をくり返し、
各プリセットチャンネルに好みの放送局を記憶させる

記憶させた放送局を聞く（プリセット選局）

1 押して

FMまたはAMを選ぶ

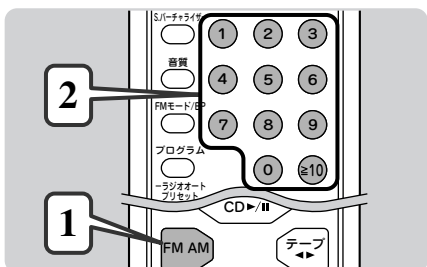
押すたびに　AM↔FM

F M 76.0

2 回して

プリセットチャンネルを選ぶ

プリセットチャンネルに記憶した放送局を受信します。

F M 3

プリセットチャンネル

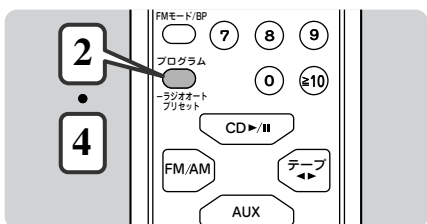
■リモコンでプリセットチャンネルを選ぶには

1 FM/AM 押して　FMまたはAMを選ぶ

2 押す

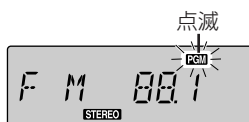
• プリセットチャンネル「10」を選ぶには

≧10 → 1 → 0

本体選局時にいつも使うプリセットチャンネルのみ表示させるには

1 不要なチャンネルを表示させる

（上記手順 **1**、**2**）

2 プログラム ポンと 押す

点滅

3 10秒以内に

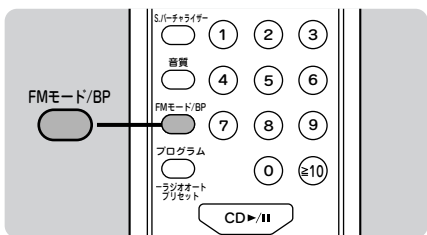
回して　“-- --”を表示させる

1↔2↔3↔4↔5↔6↔7
-- -- ↔12↔11↔10↔9↔8

4 プログラム ポンと 押す

次から選局時には不要なチャンネルは表示されません。

お知らせ　リモコンの数字ボタンでは、本体選局では表示しなかったチャンネルも選局できます。

リモコンのみ　FMステレオ放送で雑音が多いときは（ステレオ／モノラル切換）

FMモード/BP 押す

• “MONO”を表示させるとモノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。

• 通常は“MONO”を消しておいてください。(ステレオ放送はステレオ音声で、モノラル放送はモノラル音声で聞くことができます。)

もう一度押すと消灯

お知らせ　FMをモノラル受信モードで記憶させることはできません。

テープを聞く

デッキ1、2のどちらでも演奏できます。
（ここではデッキ 1で説明します。）

準備（乾電池電源のとき）：［電源］押す

正しく再生できるテープ

NORMAL POSITION（ノーマル ポジション）／TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION（ハイ ポジション）／TYPE Ⅱ	○
METAL POSITON（メタル ポジション）／TYPE Ⅳ	○

テープの種類は自動的に
判別します。

1 ［テープ/CD ■］押して テープに切り換える

（家庭用コンセント使用時、電源が入ります。）

押すたびに　TAPE↔Cd

TAPE - - - -

テープが入っていないこと
を表します。

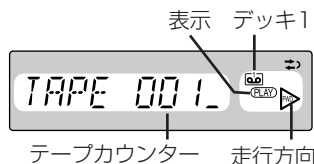
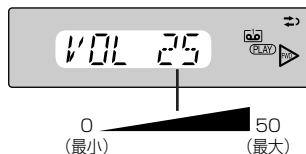
2 ［デッキ1 ▲］押して テープを入れ、
カセットふたを手で閉める

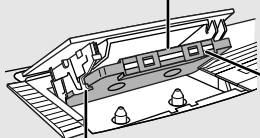
ふたを閉めると、走行方向は自動的に“▷(FWD)”
になります。

3 ［◀▶ テープ］押して 演奏を始める

▷(FWD)：上の面を再生
◁(REV)：下の面を再生

4 ［音量 － ＋］ 押して 音量を調整する

0（最小）　50（最大）

テープの入れかた

再生を始める面を上に

テープが見え
る方を手前に

テープはガイドの上に

ワンタッチプレイ（家庭用コンセント使用時のみ）
すでにテープが入っているときは、手順 **3** から行
うと自動的に電源が入り、演奏が始まります。

曲の頭出しをする

演奏中に**ポンポンと 押す**
押した数だけ曲をとび越し曲の初めから演奏します。(前後9曲まで)

● 途中で再生に戻る: テープ 押す。

- TPS機能は曲間の無音部を検出して働くため、次のような場合に正しく動作しないことがあります。(TPS:Tape Program Sensor)
  - ・曲間の無音部が4秒未満のとき
  - ・曲間に雑音があるとき
  - ・曲中に無音に近い部分があるとき

操作するデッキを切り換える

デッキ1/2 **押す**

操作できるデッキが表示

- あとからテープを入れたほうのデッキに自動的に切り換わります。
- テープを操作中に デッキ1/2 押してもう一方のデッキを操作すると、先に操作していたデッキは止まります。

早送り・巻戻しする

選局/TPS 巻戻し 早送り 停止中に**押す**

● **途中で再生に戻る**

テープ **押す**

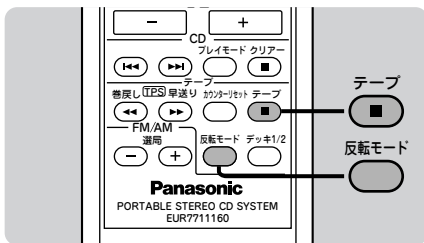
(操作部)

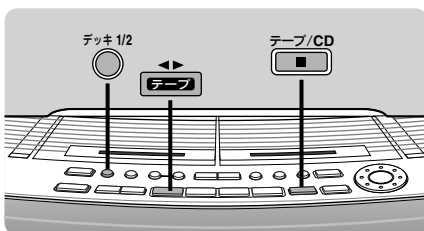
反対面を聞く

テープ 演奏中に**押す**
押すたびに FWD ↔ REV

演奏を止める

テープ/CD **押す**

リモコンのみ 反転モードを選ぶ

反転モード **押す**

押すたびに
- ⇄ :上の面→下の面を再生後、自動停止
- (⇄) :テープ■を押すまで両面を繰り返し再生
- ⇄ :片面だけ再生して自動停止

■ 両方のデッキに入れた2本のテープを続けて聞く

リモコンの 反転モード 押して"(⇄)"を選び、

テープ 押して **演奏を始める**

- あとからテープを入れたほうのデッキから演奏が始まり、テープ/CD■ 押すまで連続演奏します。
- 演奏を始める前に、デッキ1/2 押して先に演奏するデッキを選ぶこともできます。

CDを録音する(デッキ 2のみ)

正しく録音できるテープ

NORMAL POSITION (ノーマル ポジション) ／TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION (ハイ ポジション) ／TYPE Ⅱ	○
METAL POSITON (メタル ポジション) ／TYPE Ⅳ	×

テープの種類は自動的に判別します。
- 本機では、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音・消去されません。

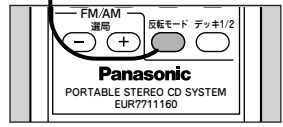
準備：
- **CDを入れる。**
- **テープのはじめから録音するときは**
  録音できないリーダーテープ（色の違う部分）を送り出して、録音がすぐ開始できるようにしておきます。
- **テープの途中から録音するときは**
  テープを聞いて録音を始める位置を頭出ししておきます。

1 デッキ2 ▲ 押して テープを入れ、カセットふたを手で閉める

ふたを閉めると、走行方向は自動的に“▷”になります。

2 リモコンのみ

反転モード 押して 反転モードを選ぶ

“⇄)”または“⇄”のどちらかを選んでください

⇄)：上の面→下の面を録音後、自動停止
⇄：片面だけ録音して自動停止

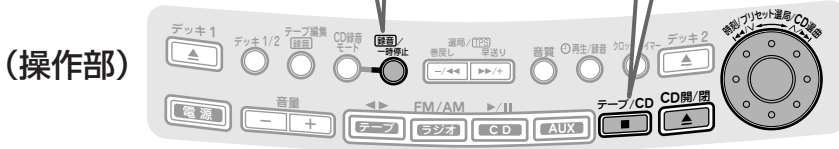
3 テープ/CD ■ 押して CDに切り換える

押すたびに TAPE↔Cd

4 録音/一時停止 押して 録音を始める

- CDの演奏と録音が同時に始まります。

▷：上の面を録音
◁：下の面を録音

- 録音中、デッキ1は操作できません。
- CDの演奏が終わると同時にテープの録音が終了します。

■テープの続きに別のCDを録音する

① CD開/閉 押してCDを入れ換える

② 録音/一時停止 押す

その位置から続けて録音できます。

■好みの曲を録音する

「CDを録音する」（☞16ページ）手順を行う前に

好みの曲を予約する

（☞10ページ「プログラムプレイ」手順 **1**～**4** を行います。）

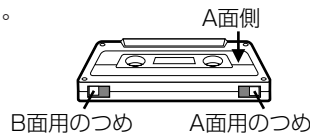
■不要な曲をとばして録音する

① 録音中に 録音/一時停止 押して録音を一時停止する（CDも一時停止します。）

② 時刻/プリセット選局/CD選曲 回して、録音する曲番を表示させる

③ 録音/一時停止 押して、ふたたび録音を始める

お知らせ

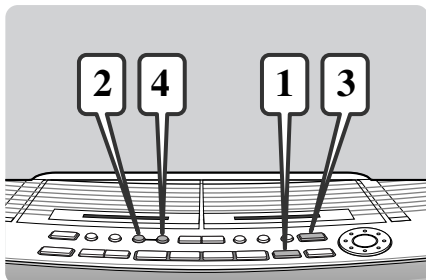
• ツメの折れたテープでは録音できません（☞27ページ）。“E”が表示されます。

• 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。
• 録音中に、本機とテレビを近付けると、テレビから出る電波の影響で雑音が録音されることがあります。

録音時の音量・音質・音場について

• 録音レベルは自動的に設定されます。
• 録音中に音量や音質、サウンドバーチャライザー（☞24ページ）を変えても、録音されるテープには影響しません。

CDを録音する（デッキ 2のみ）

CDの全曲を自動で録音する（CDまる録り…オートCD録音）

準備：
- CDを入れる（☞8ページ）
- テープを巻き戻しておく必要はありません。
  録音はいつも上の面の最初から始まります。

- 曲の途中で上の面が終わると、途切れた曲は下の面の最初に録音し直されます。

1 テープ/CD 押して　CDに切り換える

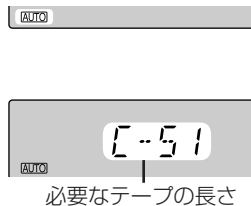
押すたびに　TAPE↔CD

2 CD録音モード 押して“AUTO”を表示させる

AUTO

押すたびに AUTO → 1-REC → OFF

3 表示された時間（分）より
長いテープを入れる
（☞16ページ）

C-51 AUTO
必要なテープの長さ

4 録音/一時停止 押して　録音を始める

自動的にテープを巻戻し、約10秒間無音で録音したあと、CDの録音が始まります。
- 反転モードは“⇄”になります。
- 全曲の録音が終わると、自動的に停止します。

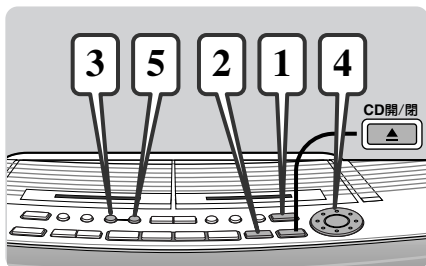
■好みの曲を録音する
①好みの曲を予約する
（☞10ページ「プログラムプレイ」手順**1**～**4**）
②上記手順 **2**～**4**を行う

■録音を止める
テープ/CD 押す（CDも止まります。）

■“C -- -- -- --”と表示されたら
録音に必要なテープの長さが100分以上になりました。録音することはできますが、テープの長さが不足すると全曲録音できない場合があります。

お知らせ ランダムプレイ（☞9ページ）のオートCD録音はできません。

CDの好みの1曲を録音する（CD1曲ねらい録り）

準備：
- CDを入れる（☞8ページ）
- テープは録音を始める位置を頭出ししておきます。

- 途中で上の面が終わって曲が途切れたときは、自動的に下の面の最初に録音し直されます。（下の面から録音を始めたときは、その面の終わりで停止します。）

1 テープを入れる（☞16ページ）
- ふたを閉めると、走行方向は自動的に“▷FWD”になります。

2 テープ/CD 押して　CDに切り換える

押すたびに　TAPE↔CD

3 CD録音モード 押して“1-REC”を表示させる

1-REC

押すたびに AUTO → **1-REC** → OFF

4 回して　録音したい曲番を選ぶ

曲番1を選ぶときは、この手順は不要です。

5 録音/一時停止 押して　録音を始める

CDの演奏と録音が同時に始まります。
- 反転モードは“⇄”になります。
- 選んだ1曲の録音が終わると、自動的に停止します。

■続けて別のCDを録音する
① CD開/閉 押してCDを入れ換える
②上記手順 **4**～**5** を行う

■録音を止める
テープ/CD 押す（CDも止まります。）

■演奏中のCDの曲を録音する（おっかけ録音）
① CD録音モード 押して“1-REC”を選ぶ
② 録音/一時停止 押す

その曲を最初から録音し、曲が終わると自動的に停止します。

ラジオを録音する（デッキ 2のみ）

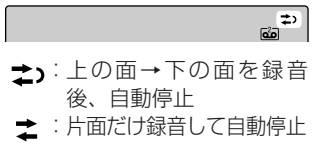
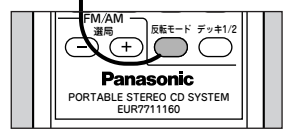
1 デッキ2 [▲] 押して テープを入れ、カセットふたを手で閉める

（電源が入ります。）
ふたを閉めると、走行方向は自動的に“FWD▷”になります。

テープの入れかた

2 リモコンのみ

反転モード 押して 反転モードを選ぶ

“⇄”または“⇄”のどちらかを選んでください

⇄：上の面→下の面を録音後、自動停止
⇄：片面だけ録音して自動停止

3 録音したい放送局を選ぶ

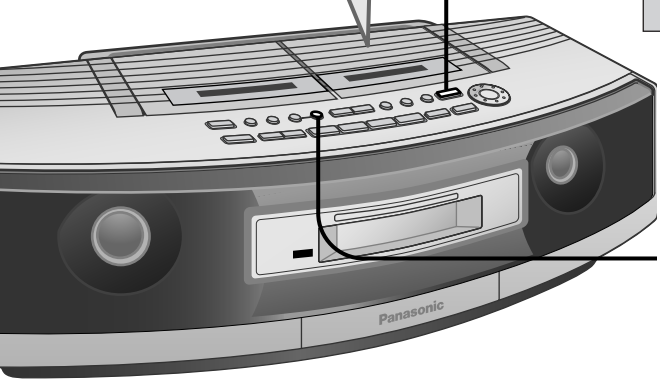
（☞11、13ページ）

4 録音/一時停止 押して 録音を始める

表示　走行方向
FWD▷：上の面を録音
◁REV：下の面を録音

• 録音中、デッキ1は操作できません。

録音を一時停止する

録音/一時停止 押す

• 録音を再開するには、もう一度押す

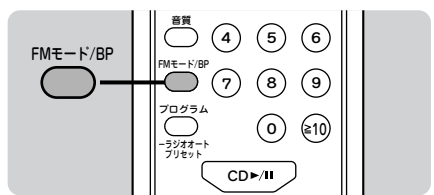
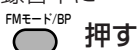
録音を止める

テープ/CD [■] 押す

テープを取り出す

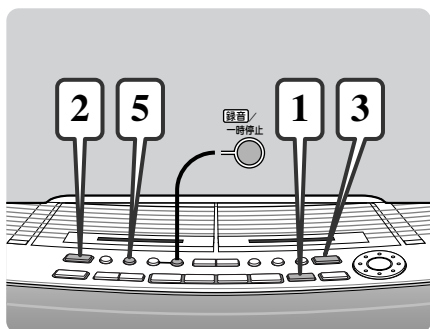
テープ/CD [■] 押して録音を止めた後、取り出してください。

（操作部）

リモコンのみ　AM放送録音時に雑音が多いときは（ビートプルーフ機能）

録音中に

FMモード/BP 押す

押すたびに“bP1”↔“bP2”
雑音の少ない方にしてください。

テープからテープへ録音する（テープダビング）

準備：
- **テープの始めから録音するときは**
  リーダーテープを巻き取る。
- **テープの途中から録音するときは**
  テープは録音を始める位置を頭出ししておきます。

1 テープ/CD ■ 押して　テープに切り換える

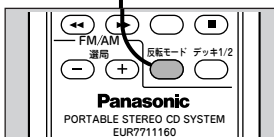
2 デッキ1 ▲ 押して　再生用テープを入れる

3 デッキ2 ▲ 押して　録音用テープを入れる

デッキ1、2には違う種類のテープが使えます。

4 リモコンのみ

反転モード 押して　反転モードを選ぶ

“⇄” または “⇄” のどちらかを選んでください

⇄：上の面→下の面を録音後、自動停止

⇄：片面だけ録音して自動停止

5 テープ編集 録音 押して

録音を始める

デッキ2の録音方向

TAPE 001_

表示（一時停止中は点滅）

■録音を一時停止する

録音/一時停止 **押す**

デッキ1、2ともに一時停止します。

●再び録音する

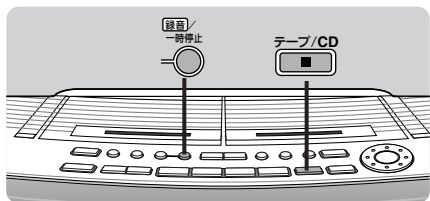
テープ編集 録音 押す

■録音を止める

テープ/CD ■ **押す**

■テープを取り出す

テープ/CD ■ 押して録音を止めた後、取り出してください。

録音を消して無音テープを作る

① 消したい面を上にしてテープを入れる

② テープ/CD ■ 押して“TAPE”を表示させる

③ 録音/一時停止 押す

リモコンのみ　テープカウンターについて

テープ位置の目安として使います。

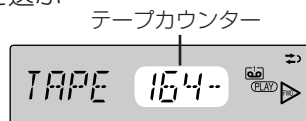
■テープカウンターを表示させる

表示切換 押して テープカウンターを選ぶ

（例：テープを聞いているとき）

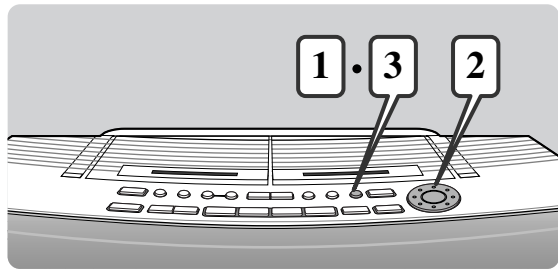
テープカウンター

TAPE 164-

録音のときはデッキ2のテープカウンターを表示します。

■テープカウンターを“000”にする

押す

時計を合わせる

24時間表示です。
例：13時30分に合わせる

1 クロック/タイマー 押して “CLOCK”を選ぶ

CLOCK 0:00

押すたびに “CLOCK”→“ON” “PLAY”→“PLAY OFF”
↑ 元の表示 ←“OFF REC”← “ON” “REC”

2 10秒以内に

CLOCK 13:30

回して

時刻を合わせる

時間、分を同時に合わせます。

3 クロック/タイマー 押す

CLOCK 13:30

時計がスタートし、元の表示に戻ります。
時報などに合わせて押してください。

お知らせ

時計精度は室温で月差約30秒です。定期的な時刻補正をおすすめします。

■時計を表示させる リモコンのみ

電源「入」時に

表示切換 押して **時刻表示を選ぶ**

（例：CDを聞いているとき）

Cd 16:20

おやすみタイマーを使う

リモコンのみ

設定した時間になるとソースの演奏を停止し、電源が切れます。

CD、テープまたはラジオを聞きながら

スリープ 押して

演奏時間を選ぶ

押すたびに（単位：分）

SLEEP 30→SLEEP 60→SLEEP 90
SLEEP OFF←SLEEP 120←

タイマー動作時に表示 SLEEP

SLEEP 30

■解除する

“SLEEP OFF”が表示されるまで、スリープ ポンポンと押す。

■残り時間を確認する

スリープ 一度だけ押す。

残り時間が約5秒間表示されます。

■設定時間を変える

スリープ ポンポンと押して、好みの時間を表示させる。

お知らせ おやすみタイマーを組み合わせて使う

おやすみタイマーは、おめざめタイマー、留守録タイマー（☞22～23ページ）と組み合わせて使えます。
常におやすみタイマーが優先するため、予約時間が重ならないようにしましょう。

タイマーフェーダー機能を使う

リモコンのみ

タイマー動作時の音量をおめざめ時には徐々に大きく、おやすみ時には徐々に小さくします。

タイマーフェーダー **押す**

- 解除するにはもう一度押す

表示 SLEEP FADER

Cd 10 46:05

お知らせ

- “FADER”表示中は、すべてのタイマーにタイマーフェーダーが働きます。（留守録タイマー時は、録音されるテープには影響しません。）
- タイマーフェーダーは、“FADER”表示を消さない限り、タイマー動作時に働きます。

テープからテープへ録音する

使いかた

時計を合わせる／おやすみタイマー／タイマーフェーダー機能

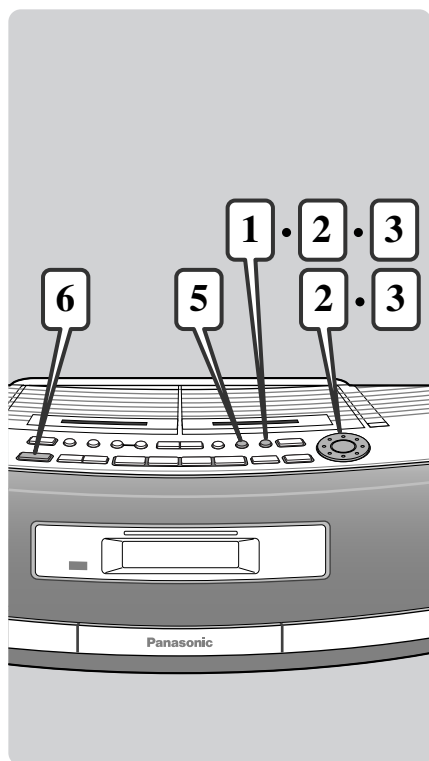
タイマーを使う

おめざめタイマーを使う

好みの時刻に電源が入り、好みのソース（CDなど）を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
一度時刻を設定しておくと、ソース設定だけを変えることもできます。

- 乾電池の消耗によりタイマー動作しないことがあります。家庭用コンセントのご使用をおすすめします。

準備：時計を合わせる（☞21ページ）

表示例：
7：30～8：30まで好みのソースを演奏する場合

時刻設定（24時間表示）する

1 "ON" と "◷PLAY" が点滅するまで

ポンポンと 押す

開始時刻　終了時刻

押すたびに "CLOCK"→**"ON" "◷PLAY"**→"◷PLAY OFF"
↑ 元の表示←"OFF◷ REC"←"ON" "◷REC"

2 10秒以内に

回して 開始時刻を選び

押す

3

回して 終了時刻を選び

押す

"E" が表示されたら
タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。

ソース・音量・タイマーを実行設定する

4 **ソースと音量を設定する**
①CDかテープ、ラジオまたは他の機器を演奏し、
②音量を調整する
他の機器は同時刻にタイマー動作するように設定します。

5 ◷再生/録音 **押して "◷PLAY" を表示させる**

押すたびに **"◷PLAY"**→"◷REC"→表示なし（解除）
↑_______________|

- 留守録タイマーが設定されていないときは、"◷REC" は表示されません。
- 時計を合わせていないと、"E" と表示されます。

6 電源 **押して 電源を切る**
電源を切らないと、タイマーが動作しません。

予約した時刻になると
演奏が始まります。（"◷PLAY" が点滅）
- 音量は手順**4**で設定した大きさになります。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

■設定内容を確認する

電源「切」のときに クロック/タイマー 押す。
開始時刻・終了時刻→ソース（留守録タイマーのときは放送局設定）→音量の順に自動的に表示し（約2秒ずつ）、そのあと元の表示に戻ります。

■設定内容を変える

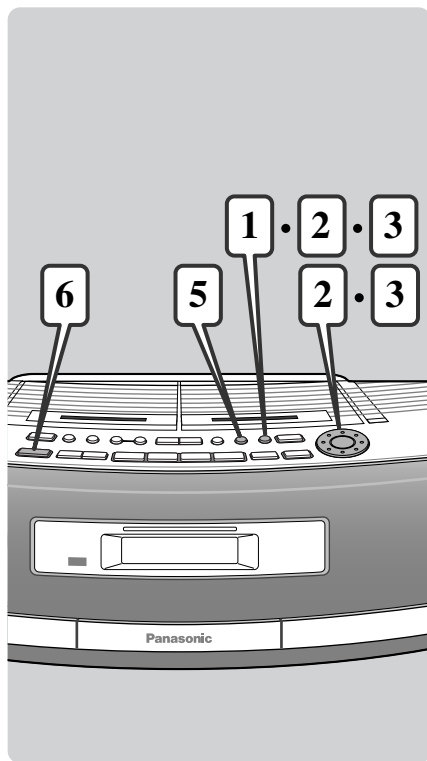
時刻を変えるときは
電源を入れ、上記の手順**1**～**3**、**6** を行う。

ソースを変えるときは
電源を入れ、◷再生/録音 押して "◷PLAY" または "◷REC" を消し、そのあと上記の手順**4**～**6** を行う。

留守録タイマーを使う

好みの時刻に電源が入り、好みの放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
- 乾電池の消耗によりタイマー動作しないことがあります。家庭用コンセントのご使用をおすすめします。

準備：
- **時計を合わせる**（☞21ページ）
- **テープを入れ、反転モードを選ぶ**（☞16ページ）

表示例：
13：30～14：30までの放送を録音する場合

時刻設定（24時間表示）する

1 "ON"と"◷REC"が点滅するまで クロック/タイマー **ポンポンと 押す**

押すたびに "CLOCK"→"ON" "◷PLAY"→"◷PLAY OFF"→"ON" "◷REC"→"OFF◷ REC"→元の表示

2 10秒以内に

回して 開始時刻を選び

ON OFF ◷REC 13:30 0:00

押す

ON OFF ◷REC 13:30 13:30

3

回して 終了時刻を選び

ON OFF ◷REC 13:30 14:30

クロック/タイマー **押す**

タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。

放送局・タイマーを実行設定する

4 **放送局を受信し、音量を調整する**
必要に応じてステレオ／モノラルを切り換えてください。
（☞13ページ）

5 ◷再生/録音 **押して "◷REC" を表示させる**

◷REC REC

押すたびに "◷PLAY"→"◷REC"→表示なし(解除)

- おめざめタイマーが設定されていないときは、"◷PLAY"は表示されません。
- 時計を合わせていないと、"E"と表示されます。

6 電源 **押して 電源を切る**
電源を切らないと、タイマーが動作しません。

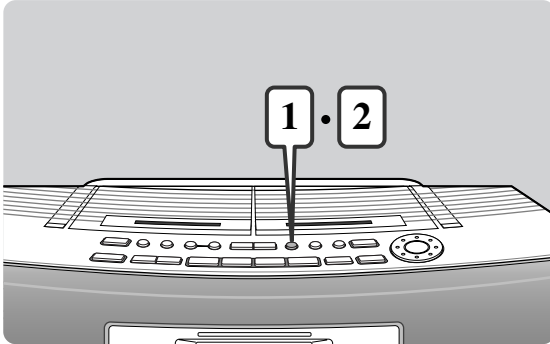
予約した時刻の30秒前になると
録音が始まります。（"◷REC"が点滅）
- 音量は手順**4**で設定した大きさになります。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

■タイマーを解除する

電源「入」のときに ◷再生/録音 押して "◷PLAY"（おめざめタイマー）または "◷REC"（留守録タイマー）を消す。（動作させるには、もう一度 "◷PLAY" または "◷REC" を表示させる。）

■タイマー設定後でも、演奏や録音はできます

操作後は、必ず電源を切ってください。
- テープのタイマー動作は、電源を切る前に表示されている走行方向で動作します。演奏を楽しんだあとは、タイマー動作するデッキとテープの走行方向（"▷"または"◁"）を確認してから電源を切ってください。

音質(プリセットEQ)を変える

1 音質 押す

(現在の音質が表示されます。)

2 2秒以内に

音質 押して　音質を選ぶ

押すたびに、次の順序で切り換わります。

HEAVY：ロックなど、パンチを効かせるとき

CLEAR：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき

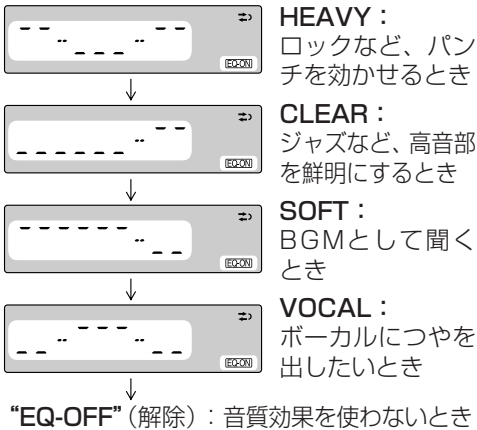
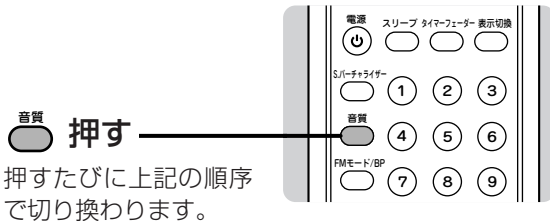
SOFT：BGMとして聞くとき

VOCAL：ボーカルにつやを出したいとき

“EQ-OFF”(解除)：音質効果を使わないとき

■リモコンで音質を選ぶ

音質 押す

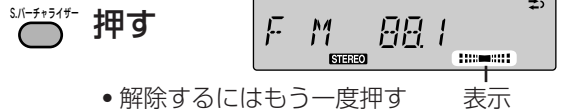
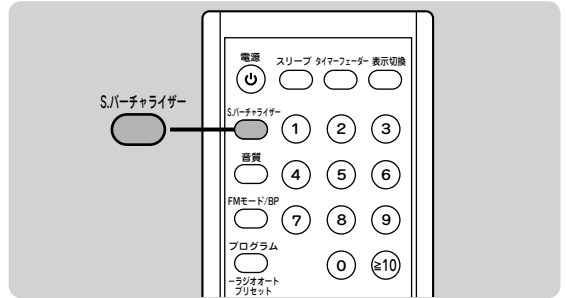
押すたびに上記の順序で切り換わります。

お知らせ

録音するときに音質を変えても、録音されるテープには影響しません。

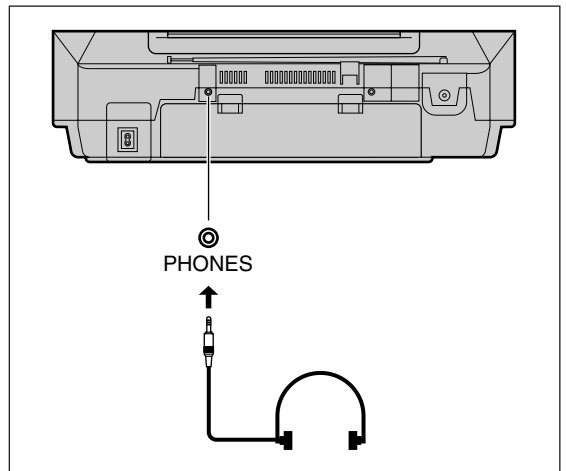
サウンドバーチャライザーを使う

リモコンのみ　ステレオ音声のとき使用できます。

S.バーチャライザー 押す

- 解除するにはもう一度押す　表示

お知らせ

- 録音するときにサウンドバーチャライザーを使っても、録音されるテープには影響しません。
- 効果は、音楽によって異なります。

ヘッドホン(別売り)で聞く

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

プラグタイプ：ステレオミニ(M3)

推奨品(すべて別売り)：

RP-HT510、RP-HT242(密閉形)

RP-HT29(小形軽量オープンエアー型)

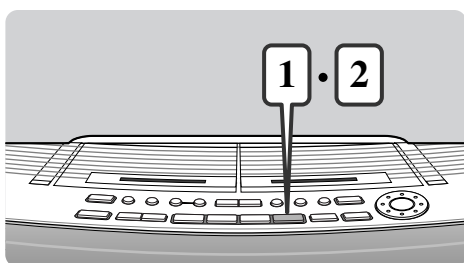
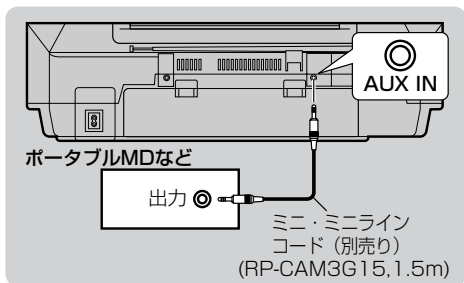
他の機器と組み合わせて使う

電源を切ってから接続してください。

他の機器（MDなど）を再生する

1・2

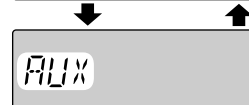
準備：電源 押す（乾電池電源のとき）

1 AUX ポンと 押す

2 AUX 表示が切り換わるまで 押したままにし、機器に合わせてレベルを選ぶ

AUX-H：
ポータブルMDなど、出力レベルの低い機器を使っているとき

AUX-H

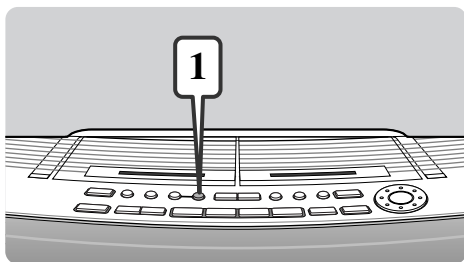
AUX：
上記以外の機器を使っているとき

AUX

3 MDなどの演奏を始める

リモコンの AUX でレベルを切り換えることはできません。本体の AUX で切り換えてください。

■アナログプレーヤーを接続する

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。
推奨品：当社のアナログプレーヤー　SL-J8（イコライザー内蔵）
SL-J8を本機に接続するには、ピンミニコード（別売り：RP-CAPM3G15）、ピンプラグアダプター（別売り：RP-PA66A）が必要です。
本機の［AUX IN］端子に接続します。
お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番 RFKZ0088KIT）が必要です。そのまま接続すると、音が小さくなります。

他の機器（MDなど）から本機へ録音する

準備：デッキ2へ テープを入れ反転モードを選ぶ
（☞16ページ）

1 上記手順1、2のあとで
録音／一時停止 押して 録音を始める

2 MDなどの演奏を始める

海外で使うときは

ご使用になる地域によって周波数ステップを切り換えます。（ワールドワイドチューナー）

■AM放送の受信

北米、中南米、東南アジアの一部の地域で使うには、周波数ステップを9 kHzから10 kHzに切り換えます。

10 kHzに切り換えるには 本体のみ

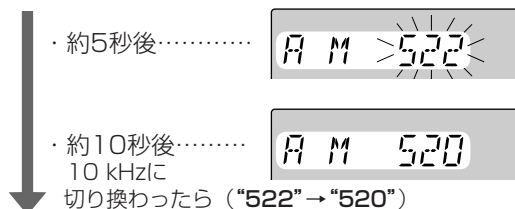
“FM” 表示中に、周波数が下図のようになるまで、

FM/AM ラジオ 押したままにする。（約10秒間）

・約5秒後…………

・約10秒後………

A M 520

10 kHzに切り換わったら（**“522”→“520”**）

ボタンから指を離す

元に戻すには、もう一度同じ操作をします。

■FM放送の受信

海外（一部の地域を除く）で使うには、周波数ステップを0.1 MHzから0.05 MHzに切り換えます。

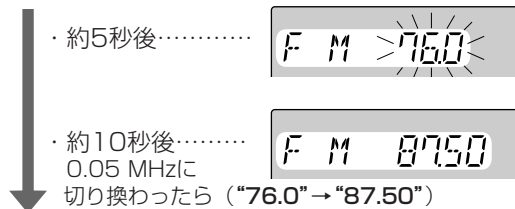
0.05 MHzに切り換えるには 本体のみ

“AM” 表示中に、周波数が下図のようになるまで、

FM/AM ラジオ 押したままにする。（約10秒間）

・約5秒後…………

・約10秒後………

0.05 MHzに切り換わったら（**“76.0”→“87.50”**）

ボタンから指を離す

元に戻すには、もう一度同じ操作をします。

お願い

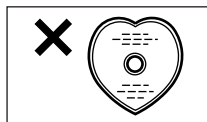
海外では電源電圧が異なりますので、乾電池でお使いください。

お知らせ

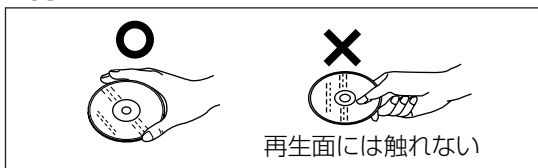
- ステップを切り換えると、プリセットチャンネル（☞12～13ページ）の記憶は消えます。
- おめざめタイマーまたは留守録タイマー（☞22～23ページ）で放送を予約していたときは、タイマー動作の設定は解除されます。

CD について

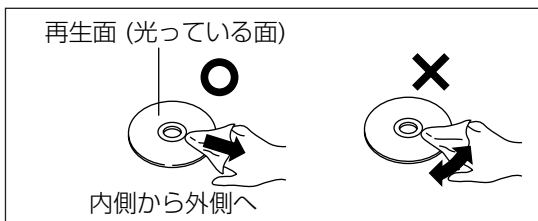
COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。（機器の故障の原因になります）

- 上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用すると、正しく再生できない場合があります。

■持ちかた

再生面には触れない

■汚れたときは

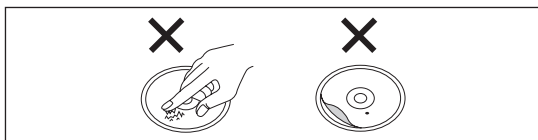
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

推奨品：クリーニングクロス　VUA7091
　　　　（サービスルート扱い）

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

■保管しておくとき

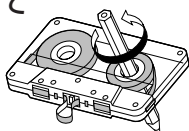
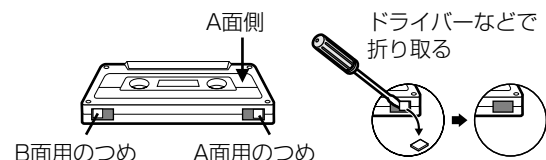
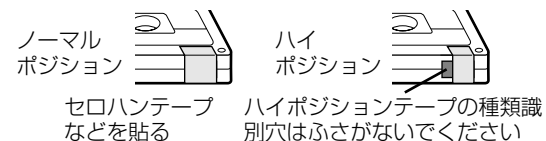
次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

テープについて

■100分を超えるテープ
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。
（回転部に巻き込まれることがあります。）

■エンドレステープはオートリバース対応のものを
使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

■テープのたるみは巻き取ってください
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■録音したテープを誤って消さないために

● もう一度録音するには

■取扱上のお願い
テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。
- テープに付属している以外のシール（特に厚みのあるシール）を貼らない
- 指定以外の場所にシールを貼らない

■保管しておくとき
次のような場所は避けてください。
- 直射日光の当たるところ
- 高温（35℃以上）や高湿（80%）のところ
- 磁気のあるところ（スピーカーの近くや、テレビの上など）

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

支部	電話
本部	☎ (03) 3481-2121
北海道支部	☎ (011) 221-5088
盛岡支部	☎ (019) 652-3201
仙台支部	☎ (022) 264-2266
長野支部	☎ (026) 225-7111
大宮支部	☎ (048) 643-5461
上野支部	☎ (03) 3832-1033
東京支部	☎ (03) 3562-4455
西東京支部	☎ (03) 3232-8301
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5286-1671
立川支部	☎ (042) 529-1500
横浜支部	☎ (045) 662-6551
静岡支部	☎ (054) 254-2621
中部支部	☎ (052) 583-7590
北陸支部	☎ (076) 221-3602
京都支部	☎ (075) 251-0134
大阪支部	☎ (06) 6244-0351
神戸支部	☎ (078) 322-0561
中国支部	☎ (082) 249-6362
四国支部	☎ (087) 821-9191
九州支部	☎ (092) 441-2285
鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
那覇支部	☎ (098) 863-1228

お手入れ

■本機が汚れたら
柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■CDを良い音でお楽しみいただくために
専用クリーナーで、レンズを時々清掃されることをおすすめします。

推奨品（別売り）：CDレンズクリーナー（品番RP-CL510）

■テープの音を、よい音でお楽しみいただくために
定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
システム全体に共通	“E”が表示された。	誤った操作をしていませんか。 取扱説明書を読んで、操作し直してください。	9、17 22～23
	“U01”が表示された。	乾電池が消耗していませんか。 新しい乾電池を使うか、家庭用コンセントを使ってください。	5
	“U02”が表示された。	メモリー乾電池しか入っていません。 乾電池を入れるか、電源コードを接続してください。	5
	“0：00”が点滅表示している	時計が動いていません。 時計を合わせてください。	21
	予約時刻になってもタイマーが動作しない。	電源が入っていませんか（おめざめ、留守録タイマー)。 電源を切らないと動作しません。	22～23
		“◷ PLAY、◷ REC、SLEEP”が表示していますか。表示させてください。	21～23
	記憶させた放送局、タイマー予約、時刻が消えた。	再設定してください。 メモリー保護のため、メモリー用乾電池を入れておくことをおすすめします。	5
CD	演奏できない。 CDを入れても曲数などが表示されない。	● CDが表裏逆になっていませんか。 ● 規格外のCDを使っていませんか。	8、26
		CDがひどく曲がったり傷ついたりしている場合は使用できません。	
		本機を寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。1時間ほど待ってください。	
	特定の箇所が演奏できない。	CDが汚れている場合は、柔らかい布でふき取ってください。	26
テープ	録音できない。	テープのつめを折っていませんか。 折った部分にセロハンテープなどを貼ってください。	27
	雑音が多い。 音質がよくない。	ヘッドが汚れていませんか。 クリーニングテープ（市販）を使って、清掃してください。	27
ラジオ	雑音が多く、うまく選局できない。	アンテナの向きなどが悪くありませんか。 アンテナを調整してみてください。	11
		テレビ、ビデオ、BSチューナーなどの電源が入っている場合は、切ってみてください。	
	雑音が入る。	他の機器のリモコンを近くで使っている場合は、リモコンを離してください。	
	テレビ放送が受信できない。	ラジオはFMバンドになっていますか。 テレビは1～3チャンネルの音声のみ、FMバンドで受信可能です。	11
リモコン	リモコンが動かない。	● 乾電池の ⊕ ⊖ が逆に入っていませんか。 ● 乾電池が消耗している場合は、新しい乾電池と取り替えてください。	4
		本機との間に障害物はありませんか。	4
	リモコンで電源が入らない。	乾電池電源で使用していませんか。 乾電池電源のときは、本体の電源ボタンを押してください。	5

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
マイクを接続したい。 本機でカラオケができますか？	マイク端子はありません。 カラオケはできません。
自分の声を録音したい。	内蔵マイクがありませんので録音できません。
TVの音をテープに録音できますか？	FMでTV1ch〜3chを受信できます。 他の局は受信できません。
録音中に、音量や音質を変えたらどうなりますか？	録音中に音量や音質を調整してスピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。 録音レベルは自動的に設定されます。
CDやラジオを聞いているときテープ操作はできますか？	本機では操作できません。 リモコンで操作できます。
タイマーの設定内容を消したい。	一度設定した内容は変更できますが、消すことはできません。 “◷PLAY”または“◷REC”表示を消してタイマーを解除することができます。
引っ越ししても、そのまま使えますか？	東日本、西日本に関係なく使えます。 ラジオの放送局メモリーは変更してください。

主な仕様

ラジオ

受信周波数
- **FM**：76.0〜90.0 MHz,TV1ch〜3ch（0.1 MHzステップ）
  ：87.5〜108.0 MHz（0.05 MHzステップ）
- **AM**：522〜1629 kHz（9 kHzステップ）
  ：520〜1710 kHz（10 kHzステップ）

テープレコーダー

トラック方式：ステレオ
録音方式：交流バイアス
消去方式：交流消去
モニター方式：バリアブルサウンドモニター
周波数範囲
- **ノーマルポジション**：30 〜16000 Hz（JEITA）
- **ハイポジション**：30 〜17000 Hz（JEITA）

CD プレーヤー

サンプリング周波数：44.1 kHz
量子化：16 ビット直線
光源：半導体レーザー（波長 795 nm）
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター：測定限界以下
DA コンバーター：MASH（1 ビット DAC）

リモコン

電源：DC 3 V、（単 3 形乾電池 2 個）
最大外形寸法
（幅×高さ×奥行）：50×145×25 mm（JEITA）
質量：約 90 g（乾電池を含む）

メモリー

電源：DC 6V、（単 3 形乾電池 4 個）
電池持続時間：約1年間
（別売りパナソニックマンガン《黒》単3形乾電池 R6使用時）

共通

スピーカー：8cm フルレンジ 5.4 Ω 2個
入力端子
- **AUX**：M3 ステレオ（33 kΩ）

出力端子
- **PHONES**：M3 ステレオ
  ：適合ヘッドホンインピーダンス 16〜64 Ω

実用最大出力（DC時）：総合 22 W（JEITA）
電池持続時間
- **ラジオカセット部**：約 8 時間（JEITAラジオ録音時）
  約 6 時間 30 分（JEITA音楽再生時、音量47程度）
- **CD 部**：約 7 時間（CD 連続録音時）
  約 6 時間 30 分（CD 連続演奏時）

（別売りパナソニックアルカリ単1形乾電池 LR20使用時）

電源
- **電灯線**：AC 100V、50/60 Hz
- **乾電池**：DC 12V、（単 1 形乾電池 8 個）
- ・乾電池の代用として充電式電池を使わない。

消費電力：AC 26 W
最大外形寸法
（幅×高さ×奥行）：490×141×291 mm（JEITA）
質量：約 5 kg（乾電池なし）
：約 6 kg（乾電池を含む）

注）● 乾電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源スイッチ「切」時の消費電力：1.0 W（ACのとき）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 6年
当社は、ポータブルステレオ CD システムの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき
28～29ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ポータブルステレオ CD システム
品番	RX-ED57
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談
パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談
パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック

修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北 海 道 地 区

地区	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東 北 地 区

地区	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首 都 圏 地 区

地区	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中 部 地 区

地区	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近 畿 地 区

地区	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中 国 地 区

地区	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四 国 地 区

地区	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九 州 地 区

地区	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖 縄 地 区

地区	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

さくいん

愛情点検　長年ご使用のポータブルステレオ CD システムの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状の時は使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	品　番	RX-ED57
	販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　－	

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

RQT7642-MS
M0304TK5098